

いやしびたるさま也。落くば物語に、主の前に出ること、女の髪を垂し事あり、されば内々事をなすにはまきあげし成べし。

〔白氏長慶集〕太行路

太行之路能摧車。若比人心是坦途。巫峽之水能覆舟。若比人心是安流。君心好惡苦不常。好生毛羽

惡生瘡。與君結髮。未五載。豈期牛女爲參商。○下

〔倭訓栞〕中編五「さるかみ」萬葉集に、年の八とせを切髪の我身を過とみゆ、いはけなきほどは、

髪を左右へかきわけてあるを、や、長くなれば肩のほどにて切をいふ、其後よきほどになりて、男は輪にゆひたるをもとゆひにてかうぶらし、女は髪わけとてかんざしする也といへり、

〔歷世女裝考〕髪あげ

髪あげといふ事古書どもにあまた見ゆ、結髪かみあひに兩義あり、一ツは男をさだむる時、かの振分髪を一ツに結集舉て、その末は脊後へたらしおく、その義は男の元服と同然なり、是上代よりの風儀なり、

〔倭名類聚抄〕三毛髮「髻」附唐韻云「髻」註髻也、四聲字苑云「髻」音選和名美豆、其一云訓上同、屈髮也、

〔箋注倭名類聚抄〕二毛髮「類篇云、髻、屈髮爲髻、與此義同、按髻其狀縮屈如環、故或謂之髻、皇國結髮雖其形不同、然總髮之義無異、故訓髻爲毛斗々利、故髻一訓亦同、新儀式、內親王初笄儀、有結髻理髮

座、吏部王記、天慶三年八月、章明親王元服、同四年八月、源爲明元服、條並云結髻、並是也、其美都良

者、結髮爲兩髻、古事記云、左右御美豆良是也、故萬葉集用角髮字、蓋用禮記內則、翦髮爲髻、男角女

者、結髮爲兩髻、古事記云、左右御美豆良是也、故萬葉集用角髮字、蓋用禮記內則、翦髮爲髻、男角女

者、結髮爲兩髻、古事記云、左右御美豆良是也、故萬葉集用角髮字、蓋用禮記內則、翦髮爲髻、男角女

者、結髮爲兩髻、古事記云、左右御美豆良是也、故萬葉集用角髮字、蓋用禮記內則、翦髮爲髻、男角女

者、結髮爲兩髻、古事記云、左右御美豆良是也、故萬葉集用角髮字、蓋用禮記內則、翦髮爲髻、男角女

者、結髮爲兩髻、古事記云、左右御美豆良是也、故萬葉集用角髮字、蓋用禮記內則、翦髮爲髻、男角女

者、結髮爲兩髻、古事記云、左右御美豆良是也、故萬葉集用角髮字、蓋用禮記內則、翦髮爲髻、男角女